

関東米粉食品メールマガジン

第212号 30. 11. 28【毎月1回発行】

(18.7.20 創刊)

関東米粉食品メールマガジンは、**関東米粉食品普及推進協議会**が、会員の皆様から寄せられた様々な情報をもとに、米粉の利用拡大のために情報発信しています。



◆目次

- 〈1〉 米粉利用推進の取組紹介
- 〈2〉 イベント等開催・出展のお知らせ
- 〈3〉 各事務局からのお知らせ
- 〈4〉 その他のお知らせ



< 1 > 米粉利用推進の取組紹介

◇「フランスで日本のコメと米粉のプロモーション」を開催 <栃木県>

日の本穀粉株式会社（栃木県米粉食品普及推進協議会会員）は、米粉の海外普及を目指し平成30年10月11日～15日、フランスのパリヤストラスブール近郊の料理学校、パン屋、小学校など4カ所で、プロモーションを実施しました。

同社では、2020年には年間50トンの日本のコメ・米粉をEU（フランスを中心）へ輸出することを目標に、「戦略的輸出事業者が行う海外市場開拓推進事業」に参加し、コメ・米粉の輸出促進のため、4名の講師を派遣し、米粉を利用した菓子、パンの製法を通して、日本食材の品質の高さや食文化のアピールに努めてきました。

今回、これらをアピールすることで日本人の「おもてなしの心」「和の心」をフランスの人々に理解してもらえたと考えており、今後はEUへの米粉の販売促進を強化していくこととしています。



料理学校でのデモンストレーション



小学校での講座風景

◇米粉動画の配信開始

平成30年11月15日、「～パンやケーキ、麺類も！～“国内産米粉”でおいしい食生活」と題した米粉動画を、政府インターネットテレビで配信が始まりました。

●詳細は、こちらをご覧ください。

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg17897.html>

◇関東米粉食品普及推進会議を開催（関東）

関東農政局は、11月20日に関東米粉食品普及推進協議会会員を集め米粉利用食品の普及推進会議を関東農政局東京都拠点 東雲合同庁舎共用会議室で開催しました。

会議では、平成 29 年 5 月 22 日の全国米粉食品普及推進会議解散に伴い、その構成員であった、関東米粉食品普及推進協議会の今後の組織運営について検討した結果、会員によるイベント出展、米粉料理教室の開催やメールマガジンによる情報発信などを通じ、一般消費者の米粉に対する認知度向上や米粉利用促進などに一定の成果を挙げてきていることから関東米粉食品普及推進協議会は現状を維持し、更なる米粉利用拡大の推進に当たることとなりました。



武内関東米粉食品普及推進協議会会長挨拶

また、農林水産省穀物課小俣課長補佐から、ノングルテン米



活発な意見が交わされました

の第三者認証制度を中心に米粉をめぐる状況についての情報提供をしていただきました。なお、参加者からは、ノングルテン米粉利用のための技術講習会の開催や米粉レシピの発信などの要望がありました。

この会議を受けて、製粉メーカーはじめ会員の皆様の今後の米粉食品利用拡大の取組が更に活発になることを期待したいと思います。

◇「アグリビジネス創出フェア 2018」の出展等について（関東）

11月20日～22日、東京ビッグサイトで行われた、農林水産省主催のアグリビジネス創出フェア 2018 に、関東米粉食品普及推進協議会は、関東農政局と共催で、

みたけ食品工業株式会社（埼玉県米粉利用食品推進連絡会会員）、Organic cafe Omotesando（とうきょう米粉ネットワーク会員）、有限会社エルフィン・インターナショナル（山梨米粉普及推進ネットワーク会員）の3会員が出展しました。

来場者からは、「弊社の技術（商品）と貴社の技術でコラボしてみませんか」との申出や、米ゲルの特性や用途についての質問が多くありました。

なお、20日は、みたけ食品工業（株）の研究開発室・田島氏による「米粉の新たな可能性」と題したセミナーを行ったところ、会場が満室になるほどの聴衆者があり、改めて多くの人が米粉に興味を持っていることを実感しました。

また、21日に、専門分野のコーディネーターが、ガイド役となり、話題のテーマに沿った出展ブースを訪問するマッチングツアーの参加者約20名が、当ブースを訪問するなど、実りある出展となりました。



セミナー風景



賑わうブース



出展ブース全景

◇地域でのイベントに出展（埼玉県）

11月4日、浦和駅周辺で開催された「浦和区民まつり」にマイ（米）・アトリエが出展し、天気にも恵まれ、用意していた米粉シフォンケーキ 360 カットなど、昼過ぎには、完売しました。小さな子ども連れの方も多く、また、グルテンを使用していない米粉食品に興味をもっていらっしゃる方が大勢いると実感できました。

なお、11月17日、18日の2日間、朝霞の森広場（朝霞市）で開催された「2018 彩の国 食と農林業ドリームフェスタ（同時開催、彩の国米まつり）へ、**は ぼ 晴れ晴れ**、**ちやちや 茶茶**の2会員が出展し、米粉を利用した、焼き菓子やスイーツなどの試食、販売やチラシ配布を行い米粉食品をPRしました。

会員のブースでは、用意していた米粉スイーツなどの食品は、午前中に売り切れるほど、来場者の興味があることがわかり、米粉の認知度も向上していると思われました。

その他、**くらし探検くらぶ**は、10月28日、さいたま市消費生活展（さいたま新都心駅 東西自由通路）、**WAベーグル**は、11月26日、さいたま市発祥のさつまいも「紅赤」の120周年を記念した紅赤マルシェに出展し、米粉のPRを行いました。

出展は全て、**埼玉県米粉利用食品推進連絡会**会員です。



【浦和区民まつり】

小さなお子さん連れの方が目立ちました



【彩の国米まつり】

このイベントにも小さなお子さん連れが多くいました。



< 2 > イベント等開催・出展のお知らせ

◇米粉パンの予約販売を行っています（埼玉県）

埼玉県米粉利用食品推進連絡会では、毎月1回「米粉パンの日」とし、米粉利用拡大に取り組んでいます。現在は、国産米粉と北海道産小麦で作った「米粉ベーグル」と小麦、卵、乳の一部または全部を除去した「米粉の焼き菓子」、「米粉のソフトクッキー」などを販売しています。（アレルギー対応については、製造者に相談してください。）

購入に当たっては、事前予約が必要になりますので、ご希望等の方は、関東米粉食品普及推進協議会事務局（電話：048-740-0403）までお問い合わせください。

- 今後の販売予定日：12月11日（火）
- お渡し場所：さいたま新都心合同庁舎2号館 2階ロビー
（さいたま市中央区新都心2-1）
- 製造者：WAベーグル（有限会社 食生活）
住所：さいたま市南区神明1-10-15 メゾン・ド・コリン1階
TEL：048-844-6313 FAX：048-740-7866
E-mail：wabage1@gmail.com



トリプルチーズ
&バジル

< 3 > 各事務局からのお知らせ

◇米粉製品の販売店等の情報について（関東）

関東米粉食品普及推進協議会では、米粉普及の一環として会員の皆様の店舗等で販売している米粉食品などの情報を収集し、HPへの掲載やイベントでの配布を行っています。

引き続き、会員の皆様の米粉食品に係る最新情報を募集していますので、掲載希望の方は

「米粉食品PRシート」を、各都県協議会事務局宛てにメールやFAX等でお知らせください。

- 米粉食品PRシート（エクセルファイル）のダウンロードは、こちらのページから。
<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komekojouhou/komekoibento.html>

◇米粉に関する情報をお寄せください（関東）

関東米粉食品普及推進協議会では、会員の皆様はじめ米粉に関心のある方から広く情報を寄せていただき、メールマガジンやホームページなどで、広く情報を発信しています。

イベント出展等、米粉利用拡大に係る情報がございましたら、「米粉に関する連絡票」をご利用いただき、事務局宛てにメールやFAX等でお知らせください。

- 米粉に関する連絡票のダウンロードは、こちらのページから。（エクセルファイル）
<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komekojouhou/komekoibento.html>

< 4 > その他のお知らせ

◇「やっぱりごはんでしょ！」の情報サイトについて（農林水産省）

農林水産省では、米の消費拡大を目的に、お米に関する情報サイト「やっぱりごはんでしょ！」を公開しました。このサイトは

- ①全国のごはん大盛り・おかわり無料のお店、旅先で味わえる現地ならではの”ごはん食”に関する情報
- ②ごはん大盛り・おかわり無料キャンペーンなど米の消費拡大に取り組む企業等の企画に関する情報
- ③お米、ごはんの栄養、健康面の良さが分かる情報やごはん・米粉のレシピ紹介など業界団体等が取り組んでいる米の消費拡大に関する情報

などです。本サイトにおいて、一般の企業や団体で実施している米消費拡大の取り組みを広く募集し、紹介していきますので、事例がございましたら、本サイト内「わたしたち日本ごはん党」のコーナーより応募してください。

- 詳細は、こちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/gohan.html>



◇海外市場開拓について（農林水産省）

農林水産省が立ち上げた「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」に参加する輸出事業者及び産地の団体・法人を募集しています。

海外へ米粉食品の販売促進、展示会出展などのプロモーション活動などを計画している事業者の方は、プロジェクト参加に向けご検討してみてください。

- 米の輸出について分かりやすく説明した動画など、詳細は、こちらをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_yusyutu/kome_yusyutu.html#project

◇ジェトロの海外情報発信サイトの紹介

独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）が運営する日本産農林水産物・食品輸出マッチングサイトから海外への情報発信が可能となっています。

日本産米粉の輸出をお考えの方は、当該サイトの活用を検討してみてください。

●詳細は、こちらをご覧ください。

https://www.jetro.go.jp/ttpp/JAN.CL01_JAN?koryu_keitai=01001000100010&kani=01&kuni=1&kibou_koku=9000&keyword_j=%95%C4%95%B2&keyword_e=Rice+flour&disp_proj=500000039

◇「食べて応援しよう！」の取組について

農林水産省関東農政局では、被災地産食品を積極的に消費することによって、産地の活力再生を通じた被災地の復興を応援するため、多様な関係者間で一体感を醸成できるよう、共通のキャッチフレーズ「食べて応援しよう！」の利用を呼びかけております。ご賛同いただける方のご参加をお待ちしております。



●「食べて応援しよう！」へのリンク（関東農政局HP）

http://www.maff.go.jp/kanto/ouen/tabete_ouen.html

【編集後記】

11月は、清々しい気候で秋を感じることができ、また、冬の気配も少し感じられ、読書、食欲、スポーツ、何をするにも充実した時間が過ごせた月だったのではないのでしょうか。

しかし、11月は、10月のハロウィンと12月のクリスマスに挟まれ、イベント的には、ちょっと寂しく感じました。あと数日で12月。本格的に寒くなり、暖かい料理、鍋が恋しい季節となってきます。実は11月の記念日に、鍋の日があります。1(い)1(い)7(な)べの語呂合わせで、11月7日が記念日になっています。

「今夜は鍋！」と一言でいっても、重要なのは、その中身です。

すき焼き、寄せ鍋、しゃぶしゃぶ、おでん、鶏団子鍋、変わり種で「キムチ鍋」などでしょうか。そして、シメの定番と言えは「ご飯」か「うどん」だと思います。具材に何を選ぶかにより食料自給率は大きく変わってきます。

例えば、すき焼き→25%、寄せ鍋→58%、しゃぶしゃぶ→13%、おでん→57%、鶏団子鍋→36%。何鍋にするかで自給率に大きな差が出てきます。牛肉などの畜産物を多く使用するものは、自給率が低く、比較的、野菜や魚を多く使用するものは、高くなっています。

そしてシメは、ご飯で雑炊に。うどんも米粉麺にすればいいのかもしれませんが。

この自給率の算出は簡単で、農林水産省のホームページに料理の自給率を簡単に計算できるパソコンソフト「クッキング自給率（こくさんと学ぶ料理自給率計算ソフト）」がダウンロードできます。ご興味のある方は、是非、ダウンロードしていただき日々の食事の自給率を確認してみてください。

11月の記念日に、やはり語呂合わせで11月24日（いいにほんしょく）「和食の日」があります。世界中に人気を広まっている「和食」ですが、日本では、その和食が減って来ているのが現状です、和食には、健康的な食生活を支える栄養バランスなど、いろいろな長所があります。鍋ともども和食についても考えてみたいと思います。



http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/keisan_kokusan.html

- 米粉食品に関する情報は・・・
http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komeko_jouhou/
- 関東米粉食品普及推進協議会員を募集！「各都県協議会事務局まで」
<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/>
- FOOD ACTION NIPPON「米粉倶楽部」公式サイト
<http://www.syokuryo.jp/komeko/>
- 皆様のご意見・ご質問、ご要望をお待ちしています。

関東米粉食品普及推進協議会事務局（関東農政局 生産部生産振興課内）
TEL：048-740-0406（直通） FAX：048-601-0533
*メルマガバックナンバー ⇒ <http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/merumaga/>